

三浦綾子 原作 山田火砂子 監督

われ弱ければ 矢嶋楯子伝

使命とは、
命を使うことです。
自分の命は、
自分で使うのです。



常盤貴子

石黒賢 渡辺いっけい 渡辺大 森三中 渡辺梓 星田英利 竹下景子

キャロリン愛子ホーランド 藤吉久美子 森岡龍 駒井蓮 小倉一郎 堀内正美 赤塚真人

磯村みどり 松本路子 露のききょう 神田さち子 キコ・ウィルソン 長谷川かずき 木村理恵 大原ますみ 後藤佑里奈 上野神楽 ジョニートマス

栗原小巻 (三浦綾子の声)

脚本:坂田俊子,山田火砂子,来映一洋 音楽:朱花 撮影:高岡賢治 照明:土保正道 録音:光地拓郎 美術:高津装飾美術 美粧:小堺なな プロデューサー:上野有 製作:株式会社 現代ふろだくしよん

原作 三浦綾子
劇映画

山田火砂子 監督作品

母

小林多喜二の母の物語

寺島しのぶ

塩谷瞬
越里
山口馬木也
徳光和夫
赤塚真人
佐野史郎
渡辺いっけい

松本若菜
真行寺君枝
磯村みどり
浅利香津代
神田さち子
加藤純平
水石亜飛夢
月船さらら
草薙仁
上野神楽子役

福原圭一
露のききょう
進藤龍也
安田陽子
崎野亜紀子
秋元辰美
平尾仁
小磯聡一朗
松野木拓人
井上智之
関戸将志
中泉英雄
ナレーション 堀内正美



わだしは小説を書くことが、
あんなにおっかないことだとは
思ってもみなかった。
あの多喜二が
小説書いて殺されるなんて

製作 | 株式会社 現代ふろだくしよん

原簿:エグゼクティブプロデューサー 山田火砂子
原作:三浦綾子『母』(角川文庫)
プロデューサー:上野有
ラインプロデューサー:櫻井博一
脚本:栗原小巻
音楽:渋谷毅
撮影:長田勇市(ASC)
録音:沼田和夫
助監督:堀田天平
美術:都留啓亮
装飾:加藤健一
編集-CG:岩谷和行
衣裳:村島華子
ヘアメイク:小堺なな
協力:公益財団法人三浦綾子記念文化財団/三浦綾子読書会/東京母親会大連
協会/北海道和歌町/秋田県大館市/YMCA/YWCA/小樽三ッオン教会他
推薦:治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部

あなたは日本女性の真の強さを知っていますか？

三浦綾子 生誕100年

映画『母—小林多喜二の母の物語』にかける思い

原作は三浦綾子さんの小説「母」です。クリスチャンの三浦さんは、無残に殺されたイエスと嘆き悲しむマリヤの絵をみたとき、「獄死した小林多喜二を想像した」と語っています。物語の中で多喜二の母、セキは同じ息子を殺されたマリヤに心から同情し、キリストを知ることで救われていきます。

そのセキを演じるのは、寺島しのぶです。彼女は制作発表の席で「原作を読み、セキの海のように広い母性と心の強さを感じた。多喜二という人物を日本人に知ってもらうため、全身全霊を込めて演じたい」と話しました。その言葉通りの熱演をみてください。

監督の山田火砂子は、戦争への危機を感じ、「時代を逆戻りさせない」決意のもとこの作品を作りました。

この映画を観ていただくことで「二度と戦争はさせない」、「希望ある新しい日本」をつくっていく気持ちを強くいただければと願っております。



映画「母—小林多喜二の母の物語」公式サイト
www.gendaipro.jp/heha/



秋田県釈迦内村、小作農と小さなそば屋で生計を立てる貧しい家の娘にセキは生まれる。高麗な地代のため、貧しい農家の娘たちは身売りするより仕方がない。セキの友達も売られていった。学校に行きたくても、男の行くところだと親は相手にしない。15歳で小林の家に嫁いだセキと夫末松の次男が、「蠶工船」等のプロレタリア小説を書き残した作家、小林多喜二である。セキは優しい母親であった。自分は字もろくに書けなかったが、海のように広い心で子供たちを愛し育てていく。多喜二は叔父の世話で、小樽高商現小樽商科大学を卒業し銀行に勤めるまでになる。当時の銀行は高給で生涯楽に暮らせる程



多喜二の死を受け入れられず苦しむセキ。長女チマの誘いで教会を訪れたセキは、イエス・キリストの死の話聞き、何も悪い事をしていないのに殺されたイエスと多喜二の姿を重ね合わせ、思いを巡らす...



セキは息子の多喜二を信じ続けた。「多喜二のすること信用しなれど、誰のすること信用する（こと）」しかし危険分子とみなされた多喜二は遂に国家権力の手によって殺されてしまった。「多喜二—もう一度立ち見せねか！—皆のためにもう一度立ち見せねか！」

『われ弱ければ 矢嶋楯子伝』



『われ弱ければ 矢嶋楯子伝』にかける思い——監督 山田火砂子

矢嶋楯子は1833年に、現在の熊本県に生まれ、38歳まで武士の妻でした。洗濯のたらいも男女を分けるなど、極端な男尊女卑の社会で苦労を重ねました。家族への度重なる乱暴を引き起こす酒乱の夫に、身の危険を感じた楯子は、末の子を連れて家出し、離縁状を叩きつけます。女性から離縁を正々堂々と申し出た初の女性が矢嶋楯子でした。楯子の甥には徳富蘇峰、徳富蘆花がいます。

上京して小学校の教員になった楯子は、ミセスツルーというアメリカ人の先生から、女学校の校長先生の仕事をすすめられます。そして洗礼を受けクリスチャンとなり、その後、現在もある女子学院の院長になり、教育界では押しも押されぬ女性となります。1886年、日本キリスト教婦人矯風会の全国組織を結成し、初代会頭となりました。一夫一婦制、婦人参政権、禁酒、廃娼運動など、たくさんの活動に関わり、女性解放運動の元祖と言えます。そして、90歳の時にはアメリカで軍縮会議に出席し、世界平和を強く訴えました。

明治大正という、女性が一人の人間として尊重されることなかった時代に、女子教育に力を注ぎ、女性解放運動に生涯を捧げた矢嶋楯子。その素晴らしい生き方が、一人でも多くの人の力になればと願いつつ、製作致しました。

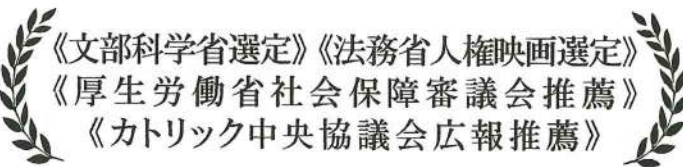
この作品に対して、瀬戸内寂聴さん、樋口恵子さん、村木厚子さん、上野千鶴子さん他多くの皆様に賛同して頂いた事に、ここで感謝申し上げます。



最新情報はこのQRコードからご覧いただけます。



https://www.gendaipro.jp/yajimakajiko/
※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



●前売券 一般:1,200円 当日券 一般:1,500円

このチラシをご持参の方は割引料金1,300円になります (※1②セット2,600円) ※5名様まで

前売券・お問合せ 現代ぷろだくしょん 03-5332-3991 (平日10時~18時) e-mail:gendaipro@gendaipro.jp

2023年 3/18(土) 上知映らせの

市原市市民会館 小ホール

市原市惣社1-1-1/JR「五井」駅東口より国分寺台行きバスで「市原市役所前」下車、駐車場242台

①10:30『われ弱ければ 矢嶋楯子伝』 ②14:00『母—小林多喜二の母の物語』

●開場は各回30分前(予定)
●一回につき~2時間30分程度(ご挨拶と映画本編110分など)
●字幕付上映

各上映前に山田火砂子 監督の舞台挨拶を予定